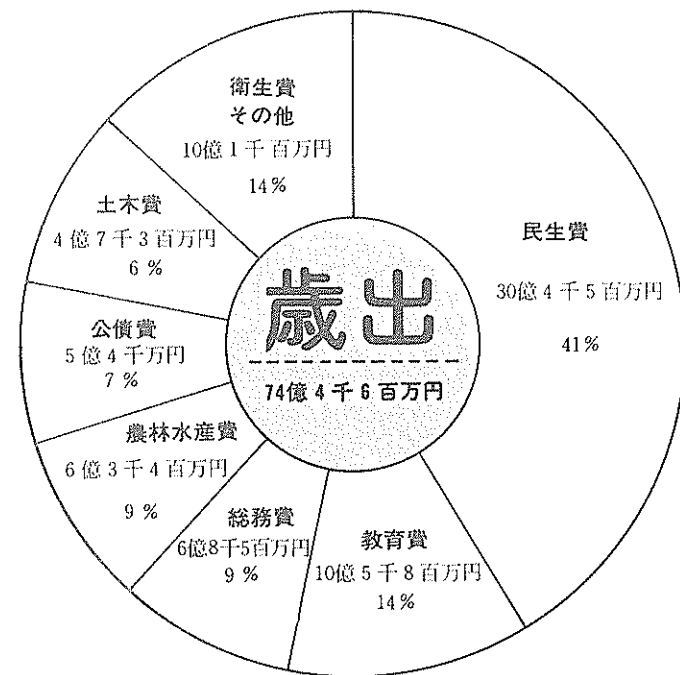




■ 歳出内訳 ■

民生費では、保育所や園児などの費用(9億3千万円)、生活扶助費(10億円)、老人福祉(4億円)などが主なものです。

教育費では、大篠小学校校舎と久礼田小学校屋内体育館(3億8千730万円)、香南中学校校舎(1億5千250万円)、集会所二館(4千万円)の建築が主なものです。

総務費では、一般的な経費(4億9千万円)や税の徴収費(1億

2千万円)があります。

農林水産業費では、土地改良事業(空港周辺、一般改良)三島の構造改善事業などが主なものです。公債費は借入金の返済です。

土木費では、道路や橋に関する経費が多く(3億1千万円)、次いで都市計画費や河川関係となっています。その他では市民の健康を守るための衛生費(3億4千万円)、失業対策事業(2億4千万円)、消防関係(1億9千万円)、災害復旧に1億円などと苦しいやりくりで市民要求に対応してきました。

53年度

一般会計

1世帯あたり
529,775円

1人あたり
166,480円

(財)南国市開発公社

収入額 1209万7千円
支出額 1573万2千円

南国市土地開発公社

収入額 3億3512万8千円
支出額 3億2921万4千円

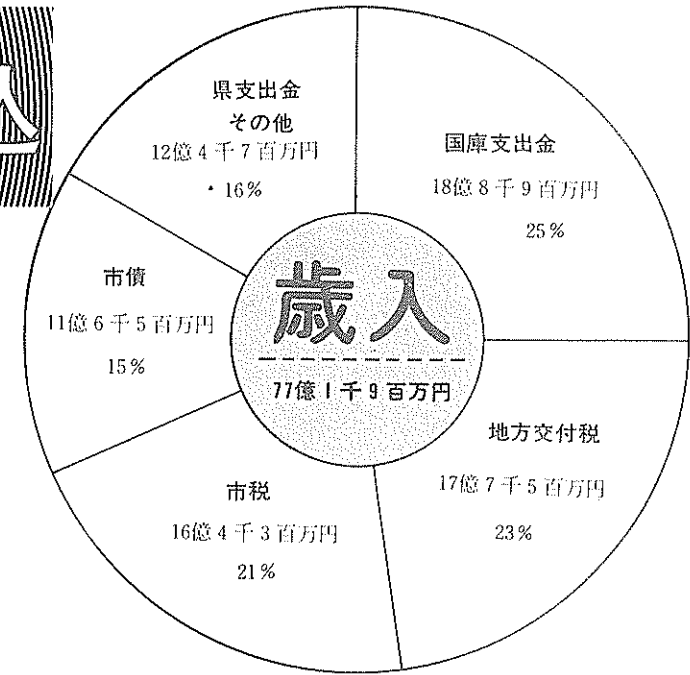
特 別 会 計		
住宅新築等貸付事業	水道事業	国保事業
同和対策事業の一つで、同和地区内への住宅の新築、改修、宅地の取得のための資金貸付事業。 収入額 9161万6千円 支出額 7960万4千円	収入額 2億998万4千円 (うち料金1億7214万9千円) 支出額 1億8220万2千円 配水管延長 約167km 年間総送水量 335万3525m ³ ① 年間総給水量 238万0324m ³ ② ②/①=70.98%	(事業勘定) 通常の会計です。 収入額 14億7490万5千円 支出額 14億5314万3千円 (直診勘定) 黒瀬地区への月1回の診療の会計です。 収入額 70万4千円 支出額 66万1千円

決算見込

概要

1世帯あたり
549,199円

1人あたり
172,584円



■ 歳入かいせつ ■

○たばこ消費税

専売公社が市内の小売店へ売り渡すたばこについて、1本約1.23円のたばこ消費税が市へ納められます。(市民のみなさん、タバコは市内で買ってください。)

○電気税

市内で使われた電気の量に応じて使用者に課せられています。市へは、一般家庭の場合、電気料の100分の5が電気税として納付されます。ただし、一ヶ月の料金が2400円以下の場合にはかかりません。

○鉱産税

石灰石などの鉱物掘採価格を課税標準に、市内の鉱業者に課せられます。税率は100分の0.7～1.2。

○木材引取税

木材の素材を引取る際に、その価格や容積を課税標準として、市条例で定める引取者にかかります。

○特別土地保有税

投機的な目的で土地を保有したり、取得する者に対して、これを抑止する趣旨で48年度より創設されたものです。

○地方交付税

この税は国税三税といわれる所得税、法人税、酒税の合計の32%が、全国市町村に交付税として交付されます。交付の基準は一応市の行政上の必要経費(基準財政需要額)と市税などの収入(基準財政収入額)との差とされています。

しかし、その算定基準の内訳は非常に複雑です。裕福な市町村ではこの税が交付されないこともあります。

○国庫・県支出金

生活保護、老人医療、保育所の

児童措置、学校施設整備などについて国や県から支出されるもの。

○市債

市の借入金のことで、庁舎建築、各種福祉施設の設置、水道施設、各種補助事業の補助金などあらゆる分野で利用されています。

本市の場合、近年その比率が高くなっています。家庭でも借金が増えると「危機」といえます。

市債が財政再建のカギを握るといえるそうです。

市税の負担状況

(人口・44,726、世帯・14,055)

	収入額	1人あたり	1世帯あたり
市 民 税	744,799千円	16,652円	52,992円
固 定 資 産 税	636,398	14,229	45,279
軽自動車税	38,423	859	2,734
たばこ消費税	119,855	2,680	8,528
電 気 税	88,557	1,980	6,301
鉱 産 税	6,030	135	429
木 材 引 取 税	—	—	—
特別土地保有税	9,106	204	648
計	1,643,168	36,739	116,911